

平成28年度 福井県立福井東特別支援学校月見分校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
<p>1 教育課程 学習指導 〈重点目標〉 個々のニーズ に即した指導 体制の工夫を 図り、教育的支 援を行う。</p>	<p>個別の指導計画を基 に授業実践を行い指 導計画の内容等につ いて検討する。</p> <p>目標: 互いの授業参観 を2回以上行い、指導 改善に努め、個別の 指導計画の内容等につ いて検討を年2回以 上行う。</p>	<p>教職員は、児童生徒の様子や個別の教育指導 計画を見据えた指導内容についての話し合いを 年2～3回程度行いいろいろな視点から授業を見 直すことができた。個に応じてICT機器を利用し た活動(遠隔操作や授業・行事での活用)を進め ることができた。今後指導に有効な場面はどこか を探りながら、個々の児童生徒が日常的に活用 できるようにしたい。</p> <p>保護者は、懇談会や授業参観などから、学校が 個々の児童生徒に応じた指導に取り組んでいる と認識し、満足度が高かった。</p>	<p>入院生については前籍校側と の連絡および病院側とのカン ファレンス等により指導内容を 検討していく。ICT機器につ いては今年度同様、入院生の 前籍校との移行支援に活用し たり、児童生徒が家庭におい ても積極的にICT機器を活用 できるよう働きかけたりしてい く。近年入院生の中に高校進 学対象生徒もいるため前籍校 との密な連絡を行う。</p>
<p>2 生徒指導 〈重点目標〉 集団活動の中 で、自己の役割 に責任を持って 取り組む力を育 てる。</p>	<p>協同作業を通して、 周囲と協力しながら 自己の役割を果た す力を育てる。</p> <p>目標: 児童生徒が教師を 含んだ集団の中で、 役割を分担して活動 する機会を月1回以 上設ける。</p>	<p>教職員は、部活動や委員会、学校行事準 備、それぞれの授業などの機会を使って、 児童生徒が役割分担をしたり、相談したりし ながら活動する場面を設定した。それによ って生徒自身が活動の見通しを持てるよう になった。また、教師への支援を依頼したり生 徒同士が声をかけたりしながら役割分担を 行うなど意欲的な態度が見られた。</p> <p>保護者は生徒が学校行事や授業で生き生 きと活動していることに満足している。</p>	<p>在籍生徒については本校 との交流及び共同学習を 定期的実施する。また特 別活動等で在籍生徒と入 院生とが互いに関わる活動 を実施していく。</p> <p>防犯訓練等も分教室の物的 環境や人的環境に合った 計画を作成し関係機関と 連携して実施していく。福 井大学附属病院五領分教 室のマニュアルを参考とし 児童生徒の安全を確保す る。</p>
<p>3 進路指導 〈重点目標〉 一人一人の進路 希望をもとに、心 身の状態や能力 に応じて進路を 決定できるよう、 支援体制の充実 を図る。</p>	<p>本人や保護者が希 望や状態に応じて 進路選択ができるよ う、十分な情報収 集・提供・進路相談・ 職場見学・職場体験 などを行う。</p> <p>目標: 生徒一人について、 情報提供・相談・職 場見学・職場体験 等、学期に2回以上 行う。</p>	<p>進路指導担当、担任を中心に、関係機関 と連携しながら現場実習先や進路先などの 情報を収集した。それによって進路相談や 保護者懇談会などで生徒や保護者へ多くの 情報を提供することができ進路選択の一助 となった。また、入院生については前籍校と 連絡を取り合い、必要な指導を行いスム ーズな移行支援を行うことができた。</p> <p>保護者は、保護者懇談や学部便りなどから 必要な情報を得ることができ、児童生徒に 応じた進路指導が行われていると満足してい る。</p>	<p>在籍生徒については、関 係機関と連携しながら生徒 や保護者に情報提供をす ることを今後も継続する。進 路指導が必要な入院生に ついては、本年度同様、前 籍校と情報交換しながら進 める。卒業生の状況把握や 支援については、本校進 路指導部と連携していく。</p>
<p>4 保健指導 〈重点目標〉 心身の健康に関 する支援・指導 体制づくりを進 める。</p>	<p>児童生徒が健康安 全に関心を持ち、自 分で体調管理を行 うための指導を計 画的に行う。</p> <p>目標: 授業や集会での指 導を学期に2回以上 設ける。</p>	<p>教職員は児童生徒の気がかりな行動や心身 の健康状態について共通理解し日々の指 導を行った。それによって生徒のメンタル面 での効果が見られ概ね安定した学校生活を 送らせることができた。また、外部専門家 による児童生徒対象の講座を実施し自己管理 の仕方を学ぶことができた。入院生につ いては、病院側と情報交換に努め、本人に退 院後の生活を意識させ体調管理に取り組み せた。</p> <p>保護者も、学級懇談や保健だよりをもとに、 学校が子どもの心身の健康維持のためサ ポートに取り組んでいることに満足していた。</p>	<p>在籍生徒については担任 による健康観察を行うととも に福井東特別支援学校本 校の養護教諭と連携し、 本校での健康指導や保健 行事への参加などを検討 することが必要である。入 院生については、これまで どおり病院側と連携し、本 人の自己管理を促してい く。</p>